

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 鷺別漁港維持管理事業補助金
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称						
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち						
節	2	自然を活かした産業の育成						
施策	1	特色ある農業・漁業の推進						
小分類	5	時代に即した漁業生産の基盤づくり						
主要な施策	3	漁港の整備促進						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事務事業コード</td> <td>32153002</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業開始年度</td> <td>昭和 1 1 年度</td> <td style="background-color: #e91e63; color: white;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	32153002	事業開始年度	昭和 1 1 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	32153002	事業開始年度	昭和 1 1 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	鷺別漁港維持管理事業補助金
------	------	------------	---------------

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場を確保する。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 北海道より、前年度漁港利用料の 1 8 % 相当が北海道権限委譲事務交付金として交付を受けており、これを財源とし鷺別漁港の維持管理経費（港内照明灯電気代等）の一部を助成する 事業内容 照明灯電気代、清掃活動等
成果	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 漁港は水産物の陸揚げ・流通の拠点であるとともに、自然体験型余暇空間や海洋性レクリエーションの場、また、海の体験学習の場として、漁業者をはじめ、地域住民等が利用する地域社会の核としての役割を担っている。漁港内施設の維持管理及び環境整備の実施により、快適で安全な漁業活動の場や地域住民と来訪者との交流、情報交換の場が確保されている。
根拠法令等	<p style="background-color: #fff9c4; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 登別市水産業振興対策事業補助規則

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	年間の漁港愛護活動（漁港清掃）	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4	/	/	/	/
	漁業者以外のふれあいの場として 漁港利用者数（釣り人など）	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,000	/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円	34	39	41	41	41	123
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	65	54	62	62	62	186
合 計			99	93	103	103	103	309
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	66	68			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		66	68			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 必要最小限の維持補修や事故防止対策等の照明は必要不可欠である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 漁港の照明については、近年、地域住民の早朝や夜間のウォーキングコースとなっており、遊漁者も増加する等地域の憩いの場として親しまれてきている。また、漁港は民家に接しており漁港の照明は防犯の役割を果たしている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 鷲別漁港は現在整備中であり、今後は、より多くの釣り人や地域の憩いの場として親しまれることになる。 定期的な清掃活動などの環境整備についても、更に推進することで、より快適な場を確保することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 北海道権限委譲事務交付金を財源としており、必要最小限（経費の一部）の補助となっている。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場としての鷲別漁港を維持していく上で、必要最小限の維持補修や事故防止対策等の照明は必要不可欠である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）